

## 春高怪物列伝 春陸10人目の全国制覇 青木涼真が卒業

昨年、春陸60年ぶりのインターハイ長距離種目入賞という快挙を成し遂げた青木涼真選手。

その一か月も経たない8月30日、さらにその歴史的偉業を達成した。

全国高校選抜の2000mSCで優勝を果たした。

記録も5分51秒89という好記録。

インターハイ3000mSCが毎1000mあたり3分3秒ペースなのでそれをはるかに上回る速さで走り切ったのだ。まだ8月なので決して涼しくはない。そんな中、「本番に強い」という重要な資質を活かし快挙をやったのけたのだ。

★6つの春高記録

1500m、5000m、2000mSC、3000mSC、駅伝の春高記録更新を果たす。

駅伝1区では2年時に30分46秒という記録も破格なので実質10000m更新も可能であったろうが、コンディションとの戦いであった。実際に高校駅伝予選は捻挫によって出場すら危ぶまれ、前年の10秒落ちのタイムに甘んじている。欲をいえばキリがないが、10キロ30分切り・・・は狙えたのではないだろうか・・・



**JAAF** Japan Association of Athletics Federations

English

陸上ファンの方へ

競技

トピックス 大会情報 選手名鑑 記録 陸上競技ガ・作 陸上競技ヒストリー

陸上ファンの方へ / 大会情報一覧 / 第3回全国高等学校陸上競技選抜大会

### 主催 第3回全国高等学校陸上競技選抜大会

| 2015年8月29日(土) ~ 30日(日)

| 大阪(ヤンマーフィールド長居)

関連大会情報

リンク

大会詳細情報

前回大会情報

大会要項

次回大会情報

リザルト



# 男子 2000mSC (0.914m)

決勝 8月30日 10:30

日本ジュニア記録 (NJR) 5:42.13 菊池 敦郎 (原町高) 2005  
 大会記録 (GR) 5:44.00 濱田 和浩 (瓊浦) 2014

## 決勝

順位	ORD	ワグ-	氏名	所属	記録	コメント	順位	ORD	ワグ-	氏名	所属	記録	コメント
1	11	11	青木 涼真(3) アキ リョウマ	春日部	5:51.89	・埼玉	8	2	115	小嶋 慶伸(2) オジマ ヨシノブ	山田	6:04.80	・大阪
2	9	135	野田 一輝(3) ノダ カズキ	西京	5:52.82	・山口	9	5	151	山城 ケイン(2) ヤマシロ ケイン	九州学院	6:06.37	・熊本
3	12	36	中田 大雅(3) ナカタ タカ	麻溝台	5:56.63	・神奈川	10	13	63	中村 黎(3) ナカムラ レイ	浜松商業	6:20.00	・静岡
4	8	86	田辺 佑典(2) タナベ ユウケン	伊賀白鳳	5:59.90	・三重	3	149	西田 壮志(2) ニシダ タカシ	九州学院	DNS	・熊本	
5	10	35	本橋 佳樹(3) モトハシ ユキ	立教池袋	6:00.00	・東京	4	21	大木 皓太(3) オキモ コウタ	成田	DNS	・千葉	
6	14	79	鹿居 二郎(3) シカイ ジロウ	中京大中京	6:00.28	・愛知	6	56	石澤 崇紀(3) イサワ タカフミ	長野日大	DNS	・長野	
7	1	8	齋藤 零司(3) サイトウ レイジ	佐野日大	6:00.40	・栃木	7	102	川上 瑞美梨(2) カガミ ミズミ	関大北陽	DNS	・大阪	

### ★OBとして

9年ぶりのインターハイ入賞までの過程を応援してきた2年ちょっとであった。

後、何年、後輩を応援に行けるだろうか・・・そして自分らがいなくなる未来、OB会はどうなっているか・・・といつも考える。

昨今、高校を選ぶ目線も大きく変化し、他県から転居されてきたご家庭は、100余年の春日部高校の歴史でさえ認識しやすいだろうし、大学進学実績だけをみれば受験のみに特化した都内や県内の私立高校を選ぶ学生も多いだろう。その傾向は続くだろう。

そんな中、学業もスポーツも真剣にやりたいと、春陸の門をたたいてくれた少年たちがいる。同じ赤シャツで91番から始まるゼッケンをつけた後輩たち。同窓よりもはるかに絆の深い、「同門」なのだ。そんな後輩たちを応援するのは自然の理である。だから現役選手や父兄の皆様とコミュニケーションをとることが重要だと思っている。なぜならOBなどは、選手やご父兄からみれば顔も知らない怖い(日本の運動部上下関係のイメージ?)オジサン達なのだ。春陸ではそんな上下関係は起きようがない事を父兄はまだ知らない。よく知らないおじさん(OB会)



お話をさせていただきご父兄から、後日よく耳にする言葉がある。

それは「OBの方ってもっと怖い人かと思っていました。子供たちの応援をあんなにしてくださいるので(選手の親として)とてもうれしかった」と。

・・・そのありがたいお言葉を頂くたびに、これこそ私の目指すOB活動であると励み

になる。

今年は特に青木選手のご両親と、お話しする時間が長かった。

そしてインターハイ後の12月、東部駅伝に応援に行った時も青木選手のご家族とお会いできた。私と石上が東部駅伝に行ったのは、OB会から全国制覇、春高記録などのお祝いとしてGPSランナーズウォッチを青木選手に謹呈するためだった。



夏の思い出も振り返りながら、ご両親様は語ってくれた。

青木涼真は小学生の事、決して短距離が速い方ではなかった。サッカーをやっていた。

でも駅伝練習になると大活躍して学校ではトップになった。明らかに長距離資質の持ち主。中学も陸上部は無かったが、「高校では陸上をやれ」とすすめられていたそう。春高に入ってグラウンドに二回ほどサッカー部を探しに来た。しかし練習時間が割り振ってあって、そこにいたのは陸上部だった。

「・・・じゃあ陸上やるか・・・」そんな感じで始まった青木の春陸活動。

その後は秋庭先生の手法で大きく才能が開花し、あれよあれよ・・・と1年後には5000m14分台である。

ご両親は「涼真は幸せ者です。良い高校、良いクラブ、良い先生に恵まれて。毎日学校に行くのが楽しくて仕方ない・・・と言っています。OBのみなさんにも本当によくして頂いて・・・春日部高校陸上競技部はすごい・・・さすが！と思いました。感謝しています」・・・とお礼を言われてしまった。

私なりのOB活動にたいする金言・最大級の賛辞を頂けたと思う。



ここで、先述した「OBとは・・・」について再び考えだした。

OBとしての楽しみ方はそれぞれだから、同期数人で飲んで昔話に花が咲けばそれだけでよい・・・という悠々としたスタンスも当然あるだろう。

でもそれは屋台骨が安定しているからできる事。

加えるなら、その骨組みの安定に数多くの先輩たちの尽力があったことを再認識することは大事である。昭和の時代は顧問の先生方を中心軸とした縦横のつながり（特に教員の方々の甚大なる貢献）があったであろう。そしてOB会長が加藤先輩、後藤先輩になるころネットの普及に沿って、47回倉田君、吉田君らが獅子奮迅のはたらきをしてくれた。この20年間、倉田君は仕事で繰り返す転居や家庭で忙しい中、無償で更新し続けてくれていた。何百通？（コラムだけでも数百だから千通越えかもしれない）メールのやり取りをしたが、もちろん仕事やプライベートの時間でもそれは続いた。FBが出てきたのはこの3



年くらいだが、今でもHPは活動の中心になってくれている。なによりご父兄様がこれらを見て、春陸を知ってくださるようになった。

倉田君の作った春陸HPの評価はいうまでもなく非常に高い。

「県立高校の一〇Bが、業者の高額なデザインや運営でなくここまで作れるのか・・・」という感嘆の声をよく耳にする。個人作高校運動部のOB会HPとしては、おそらく日本一ではないだろうかと思う。

そしてもう一人、39回石上君の働きも頭が下がる思いである。大手旅行会社勤務・・・というと交通手段に経費や安くなる手があるのでは・・・？と思う人は大きな間違い。この十数年、石上君はすべて私費で、仕事も調整して、ほとんど全ての試合に同行し、監督の手助けをしているのである。



あるとき倉田君に、なぜHPを頑張ってくださいのか・・・？と聞く機会があった。

「自分たちのインターハイに、OBが応援に来てくれた。とてもうれしかった。後に自分も社会人になってみて、土日だからといって地方遠征に応援にいけるものではない事を知った。何らかの形でOB会を応援したいと思った」・・・という応えをいただいた。

僕自身も身が引き締まる思いがした。

**OBはクラブへの取り組む姿勢は自由参加であるべきだ。**律して重荷にしてはいけない。

**「やりたいOBが自発的にやるだけ」が鉄則。**

しかし、倉田君や石上君など、水面下で春陸のために働くOBの存在は、年齢的に限界がある。

たった十数年後のOB会役員に、倉田や石上の名はないのだ。

だから、「具体的にやること」を決めていかないと・・・

20年後、古きよき先輩たちから引き継いだ家督はきちんと受け継がれ、現役、父兄の応援に積極的な集団であることを望むし、その準備はするべきだと思う。

「さすが春陸」と言われる良い組織、良いグループにしていこう考える場合、それが普通ではないだろうか。